

所得申告書補記マニュアル

札幌市役所保健福祉局保険医療部保険企画課

所得申告書の補記業務は、以下のとおり行う。

所得申告書のチェック・修正

受領した所得申告書の記載内容をチェックする。

内容が矛盾している場合や不明な場合は、区ごとにまとめた上で、回送書と併せて保険企画課へ回送する。

所得申告書は、パンチ入力業務の際に用いることとなるため、記入欄や金額の記載誤りについては赤ペンで修正する。

1 所得金額等の補記

金額が未記載等であっても、添付書類から所得金額等の捕捉が可能なものについては、金額の補記を行う。

また、申告書に金額の記載があり、かつ添付書類があるものについては、内容が適正かどうかを確認する。

補記または記載内容の確認については、以下5種類の添付書類について行うこととする。

金額を捕捉できない場合や、これ以外の書類が添付されている場合については、所得申告書パンチ入力等業務仕様書3(2)内の表に従い補記等を行わず本市へ回送する。

(1) 確定申告書A

令和〇〇年〇月〇日 令和〇〇年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書A [FA2001]

令和五年一月から申告書Aは廃止され、申告書Bに一本化されます。

第一表 (令和三年分用)

住所 (又は居所)	フリガナ	個人番号 マイナンバー
氏名	住主との続柄	生年月日
令和〇〇年 1月1日 の住所	電話番号	自宅・勤務先・携帯 番号
整理番号		

(単位は円)

収入金額等	給与	①	税 金 の 計 算	課税される所得金額 (⑧ - ⑤)	000
	公的年金等	②		上の⑧に対する税額	
	雑業務	⑦		配当控除	
	その他	⑥		所得控除等 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	00
配当	⑧		控除される所得金額 (⑧ - ⑤)	00	
一時	⑨		復興特別所得税額 (⑧ × 2.1%)		
給与	①		所得税及び復興特別所得税の額 (⑧ + ⑩)		
公的年金等	②		外国税額控除等		
雑業務	③		源泉徴収税額		
その他	④		申告納税額 納める税金 (⑧ - ⑤ - ⑩ - ⑪ - ⑫ - ⑬ - ⑭ - ⑮ - ⑯ - ⑰ - ⑱ - ⑲ - ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿)	00	
②から④までの計	⑤	※③	申告納税額 納められる税金 (⑧ - ⑤ - ⑩ - ⑪ - ⑫ - ⑬ - ⑭ - ⑮ - ⑯ - ⑰ - ⑱ - ⑲ - ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿)	00	
配当	⑥		公的年金等以外の 合計所得金額		
一時	⑦		配偶者の合計所得金額		
合	⑧		雇所得・一時所得の 源泉徴収税額の合計額		
社会保険料控除	⑨		未納付の源泉徴収税額		
小規模企業共済等掛金控除	⑩		申告期限までに 納付する金額	00	
生命保険料控除	⑪		延納届出額	000	
地震保険料控除	⑫				
雑損・ひび割れ控除	⑬	0000			
勤労学生・障害者控除	⑭	0000			
基礎控除	⑮	0000			
扶養控除	⑯	0000			
基礎控除	⑰	0000			
⑨から⑲までの計	⑳				
雑損控除	㉑				
医療費控除	㉒				
寄附金控除	㉓				
合	㉔				

※③については、②に金額が無い場合に限る。

<所得申告書>

氏名	収入の種類 当てはまるものを○で 囲んでください。	年金・職業の種類 年金の場合は、あてはまる ものを○で囲んでください。	収入金額	必要経費	所得金額
	無収入	無収入の方は左欄を○で囲んでください。			
	給与 (パート・アルバイト収入を含む)		①		
	年金	老齢・退職 遺族・障害年金 その他()年金	②		
	営業等・不動産・その他	()			※③
	営業等・不動産・その他	()			

※③については、②に金額が無い場合に限る。

(2) 確定申告書B

FA2201

令和 年 月 日 令和 0 年分の 所得税及び復興特別所得税の 申告書B

現在の住所: 〒 市区町村 番地 丁目 番 号

フリガナ: _____

氏名: _____

生年月日: _____

職業: _____ 番号・番号: _____ 世帯主の氏名: _____ 世帯主との続柄: _____

整理番号: _____ 電話番号: _____

第一表 (令和三年分以降用)

収入金額等	事業等	①		税	課税される所得金額 (①-②)又は第三表上の欄に対する税額又は第三表の別	⑩		000
	業	②			配当控除	⑪		
	不動産	③			政治等寄附金等特別控除	⑫		
	利	④			住宅耐震改修特別控除等	⑬		
	配当	⑤			災害減免額	⑭		
	給与	⑥	①		所得引所得控除(源泉所得税額)	⑮		00
	公的年金等	⑦	②		復興特別所得税額 (⑬×2.1%)	⑯		
	雑	⑧			所得税及び復興特別所得税の額 (⑮+⑯)	⑰		
	その他	⑨			外国控除控除等	⑱		
	総合課税	⑩			源泉徴収税額	⑲		
所得金額等	事業等	①	③	算	申告納税額 (第1期分・第2期分)	⑳		00
	業	②	④		第3期分 納める税金 (㉑-㉒)	㉑		△
	不動産	③	⑤		公的年金等以外の合計所得金額	㉒		
	利	④			配偶者の合計所得金額	㉓		
	配当	⑤			専従者給与控除後の合計額	㉔		
	給与	⑥			青色申告特別控除額	㉕		
	公的年金等	⑦			所得・一時所得等の源泉徴収税額の合計額	㉖		
	雑	⑧			未納付の源泉徴収税額	㉗		
	その他	⑨			本年分で差し引く繰越納税額	㉘		
	⑦から⑩までの計	⑩	※⑥		平均課税対象金額	㉙		
所得から差し引かれる金額	総合課税・一時 (㉑+[(㉒+㉓)×2])	⑪		他	延納・滞納の税	㉚	00	
	⑩から⑭までの計	⑫			延納届出額	㉛	0000	
	社会保険料控除	⑬			延納届出額	㉜	0000	
	小規模企業共済等掛金控除	⑭			延納届出額	㉝	0000	
	生命保険料控除	⑮			延納届出額	㉞	0000	
	地震保険料控除	⑯			延納届出額	㉟	0000	
	寡婦・ひとり親控除	㉑			延納届出額	㊱	0000	
	勤労学生・障害者控除	㉒			延納届出額	㊲	0000	
	配偶者・扶養控除	㉓			延納届出額	㊳	0000	
	基礎控除	㉔			延納届出額	㊴	0000	
⑬から㉔までの計	⑰		延納届出額	㊵	0000			
雑損控除	⑱		延納届出額	㊶				
医療費控除	㉑		延納届出額	㊷				
寄附金控除	㉒		延納届出額	㊸				
合計 (⑰+⑱+㉑+㉒)	⑲		延納届出額	㊹				

④・⑤・⑥・⑩又は㉑の記入をお忘れなく。

<所得申告書>

氏名	収入の種類 当てはまるものを○で囲んでください。	年金・職業の種類 年金の場合は、当てはまるものを○で囲んでください。	収入金額	必要経費	所得金額	
確定申告書から把握した収入の種類を選択する。 (雑または農業の場合は、その他に○をし、右括弧内に「雑」または「農業」と記入)	無収入	無収入の方は左欄を○で囲んでください。				
	給与 (パート・アルバイト収入を含む)		①			
	年金	老齢・退職		②		
		遺族・障害年金				
		その他 () 年金				
	営業等・不動産・その他	()			③・④・⑤・※⑥	
	営業等・不動産・その他	()				

※⑥については、②に金額が無い場合に限る。

(3) 青色申告決算書（収支内訳書）：いくつか種類があるが、「所得金額」欄に着目する。

FA0203

令和〇〇年分 所得税青色申告決算書（一般用）

住所：〒 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇

フリガナ： 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇

電話番号： 〇〇〇〇〇〇〇〇〇

業種名： 〇〇〇 〇〇〇

加入団体名： 〇〇〇 〇〇〇

「収支内訳書」となっている場合もある

所得の種類によって表記が異なる。

- ・一般用→営業所得
- ・農業所得用→農業所得
- ・不動産所得用→不動産所得

令和 年 月 日 損益計算書（白 月 日）

提出用	科目	金額 (円)	科目	金額 (円)	科目	金額 (円)
令和元年分以降用	売上(収入)金額 (雑収入を含む) ①		消耗品費 ⑩		貸倒引当金 ⑳	
	期首商品(製品)増高 ②		減価償却費 ⑪		計 ⑳	
	売上仕入金額(商品) ③		福利厚生費 ⑫		専従者給与 ㉑	
	小計(②+③) ④		給料賃金 ⑬		貸倒引当金 ㉒	
	期末商品(製品)増高 ⑤		外注工賃 ⑭		計 ㉓	
	差引原価(④-⑤) ⑥		利子割引料 ⑮		青色申告特別控除(⑬+⑭) ㉔	
	差引金額(①-⑥) ⑦		地代家賃 ⑯		青色申告特別控除 ㉕	
	租税公課 ⑧		貸倒金 ⑰		所得金額(⑩-㉕) ㉖	①
	荷造運賃 ⑨		雑費 ⑱			
	水道光熱費 ⑩		計 ㉗			
	旅費交通費 ⑪		差引金額(⑦-㉗) ㉘			
	通信費 ⑫					
	広告宣伝費 ⑬					
	接待交際費 ⑭					
	損害保険料 ⑮					
	修繕費 ⑯					

●青色申告特別控除については、「決算の手引き」の「青色申告特別控除」の項を読んでください。

●下の欄には、書かないでください。

<所得申告書>

青色申告決算書から把握した収入の種類を選択する。
(農業の場合は、その他に○をし、右括弧内に「農業」と記入)

の種類 (ふるしを○で するもの)	年金・職業の種類 (パート・アルバイト収入を含む) 年金の場合は、あてはまる ものをもて囲んでください。	収入金額	必要経費	所得金額
収入	無収入の方は左欄を○で囲んでください。	円		
金	老齢・退職 遺族・障害年金 その他()年金	円		
	農業等・不動産・その他 ()	円		①
	農業等・不動産・その他 ()	円		

(5) 公的年金等の源泉徴収票

令和 3 年分 公的年金等の源泉徴収票														
支払を受ける者 (フリガナ)	住所又は居所										生年月日		年金の種別	
	氏名													
区分		支払金額						源泉徴収税額						
所得税法第203条の3第1号・第4号適用分		①						円		円				
所得税法第203条の3第2号・第5号適用分		②						円		円				
所得税法第203条の3第3号・第6号適用分		③						円		円				
所得税法第203条の3第7号適用分		④						円		円				
本人		源泉控除対象配偶者の有無等		控除対象扶養親族の数			障害者の数		非居住者である親族の数		社会保険料の額			
特別障害者	その他の障害者	ひとり親	寡婦	一般	老人	特定	老人	その他	16歳未満の扶養親族の数	特別	その他	人	人	円
						人	人	人	人	人(人)	人	人	人	
源泉控除対象配偶者	(フリガナ) 氏名				区分	(摘要)								
控除対象扶養親族	(フリガナ) 氏名				区分									
	(フリガナ) 氏名				区分									
16歳未満の扶養親族	(フリガナ) 氏名				区分									
	(フリガナ) 氏名				区分									
支払者 法人番号 6000012070001 東京都千代田区霞が関1丁目2番2号 官署支出官 厚生労働省年金局 事業企画課長														
										印 10mm				

<所得申告書>

氏名	収入の種類 <small>当てはまるものを○で囲んでください。</small>	年金・職業の種類 <small>年金の場合は、あてはまるものを○で囲んでください。</small>	収入金額	必要経費	所得金額	
()	無収入	無収入の方は左欄を○で囲んでください。				
	給与 (パート・アルバイト収入を含む)		①	円		
	年金	老齢・退職		①+②+③+④	円	
		遺族・障害年金			円	
		その他()年金			円	円
	営業等・不動産・その他	()			円	円
営業等・不動産・その他	()			円	円	

2 コード等の補記

後述のとおり、対応するコード等を記入する。

		ア 個人コード			イ 所得区分					
氏名	収入の種類 <small>当てはまるものを○で囲んでください。</small>	年金・職業の種類 <small>年金の場合は、あてはまるものを○で囲んでください。</small>	収入金額	必要経費	所得金額					
国保 太郎 S37. 3.28生 (9999-9999-9)	無収入	無収入の方は左欄を○で囲んでください。		99,999	911	111	111	111	5	
	給与 (パート・アルバイト収入を含む。)	①	円	記入 ください						
	年金	老齢・退職		円						
		遺族障害年金		円						
		その他()年金		円						
	営業等・不動産・その他	()		円						
営業等・不動産・その他	()		円							

ウ 給与収入額 エ 所得コード オ 公的年金等収入
カ 公的年金等収入以外の雑所得
キ その他の所得

ア 個人コード

該当者の国保番号（7桁）・住民コード（10桁）・調査区分（1桁）の計18桁で構成。システムから出力された申告書には初めから印字されているので補記する必要はない。なお、このコードについては市側でのみ把握できるものであるため、印字されていないものについては、区ごとにまとめた上で、回送票と併せて保険企画課へ回送する。

イ 所得区分

基本的には下表により必ず補記する。ただし、無収入の場合（各収入・所得金額欄がすべて空欄もしくは0）は補記しなくてもエラーとはならず、「所得なし」として処理される。また、複数の所得（収入）がある場合は、金額がもっとも高い区分を記載する。

なお、所得区分を「1」又は「7」と補記した場合のみ、収入金額が未記入であってもエラーとならず「収入0」として登録される。

【所得区分】	
1	給与
3	年金
5	営業
7	その他
0	未申告

ウ 給与収入額

所得申告者が記載するので、補記の必要なし。ただし、収入金額に不備や誤りがある場合は、赤ペンで補記・修正する。

エ 所得コード

下記の所得がある場合、そのコードを記載する。コードは1つしか記載できないため、2種類以上ある場合は、区ごとにまとめた上で、回送票と併せて保険企画課へ回送する。

<所得コード>

- 不動産所得：10
- 営業所得：11
- 利子所得：12
- 配当所得：13
- 農業所得：14
- 短期・長期・一時所得：15
- 分離短期譲渡所得：16
- 分離長期譲渡所得：17
- 山林所得：18
- 上場株式等譲渡所得：19
- 専従者給与支払額：20

オ 公的年金等収入

公的年金等収入がある場合、「年」欄にその収入金額（所得金額ではないので注意）を記載する。複数の公的年金収入がある場合、その合計額を記載する。遺族年金など非課税年金の場合、収入金額には含めない。（非課税年金のみ受給の場合、所得区分を「7」として収入欄は空欄にする。）

カ 公的年金等収入以外の雑所得

公的年金等収入以外の雑所得がある場合、「雑」欄にその所得金額を記載する。

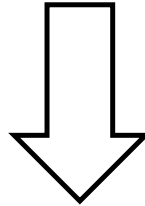
キ その他の所得

上記エで所得コードを記載した場合、「額」欄にそれに対応する所得金額を記載する。

【所得申告書の補記・修正例①】

(提出された申告書)

氏名	収入の種類 当てはまるものを○で 囲んでください。	年金・職業の種類 年金の場合は、あてはまる ものを○で囲んでください。	収入金額	必要経費	所得金額	
国保 太郎 S 3 7 . 3 . 2 8 生 (9 9 9 9 - 9 9 9 9 - 9)	無収入	無収入の方は左欄を○で囲んでください。		9 9 9 9 9 9 9 1 1 1 1 1 1 1 1 5 所		
	給与 (パート・アルバイト収入を含む。)	①	2,000,000 円			
	年金	老齢・退職	1,300,000 円			
		遺族・障害年金				
		その他(個人)年金	1,000,000 円	650,000 円	350,000 円	
	営業等・不動産・その他	()	1,000,000 円	1,200,000 円	-200,000 円	
営業等・不動産・その他	()					



給与収入2,000,000円
老齢年金1,300,000円
個人年金(雑所得)350,000円
営業所得 -200,000円
の場合

(補記・修正後の申告書)

氏名	収入の種類 当てはまるものを○で 囲んでください。	年金・職業の種類 年金の場合は、あてはまる ものを○で囲んでください。	収入金額	必要経費	所得金額	
国保 太郎 S 3 7 . 3 . 2 8 生 (9 9 9 9 - 9 9 9 9 - 9)	無収入	無収入の方は左欄を○で囲んでください。		9 9 9 9 9 9 9 1 1 1 1 1 1 1 1 5 所		
	給与 (パート・アルバイト収入を含む。)	①	2,000,000 円		1,300,000	
	年金	老齢・退職	1,300,000 円			350,000
		遺族・障害年金			11	△200,000
		その他(個人)年金	1,000,000 円	650,000 円		350,000 円
	営業等・不動産・その他	()	1,000,000 円	1,200,000 円		-200,000 円
営業等・不動産・その他	()					

誤りや段ずれが無い場合、給与収入金額はそのままパンチ処理されるので補記の必要なし。

金額が一番高いのは給与収入なので、「所」欄には所得区分1を記入する。

「年」欄には公的年金収入の合計額 1,300,000 円を記入。所得金額ではなく収入金額を記入するので注意。なお、遺族年金・障害年金のような非課税年金であるにもかかわらず老齢・退職年金欄に記入してくる場合もあるので、判断がつかない場合は、区ごとにまとめた上で、回送票と併せて保険企画課へ回送する。

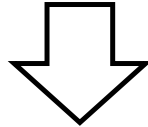
雑所得 350,000 円があるので、「雑」欄にその金額を記入。収入金額しか記載されていない場合は、区ごとにまとめた上で、回送票と併せて保険企画課へ回送する。

その他の所得がある場合、その所得コード(営業なので11)及び所得額を記入。マイナス所得の場合は、△で標記する。

【所得申告書の補記・修正例②】

(提出された申告書)

氏名	収入の種類 当てはまるものを○で 囲んでください。	年金・職業の種類 年金の場合は、あてはまる ものを○で囲んでください。	収入金額	必要経費	所得金額
国保 太郎 S37. 3.28生 (9999-9999-9)	無収入	無収入の方は左欄を○で囲んでください。		999999911111111115	所
	給与 (パート・アルバイト収入を含む。)	①	円	で記入 しな い	年 額
	年金	老 齢 ・ 退 職	円		
		遺 族 ・ 障 害 年 金	円		
		そ の 他 () 年 金	円		
	営業等・不動産・その他	()	円	円	円
営業等・不動産・その他	()	円	円	円	



(補記・修正後の申告書)

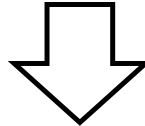
国保 太郎 S37. 3.28生 (9999-9999-9)	無収入	無収入の方は左欄を○で囲んでください。		999999911111111115	所
	給与 (パート・アルバイト収入を含む。)	①	円	で記入 しな い	年 額
	年金	老 齢 ・ 退 職	円		
		遺 族 ・ 障 害 年 金	円		
		そ の 他 () 年 金	円		
	営業等・不動産・その他	()	円	円	円
営業等・不動産・その他	()	円	円	円	

無収入の場合は何も記載しなくてよい。

【所得申告書の補記・修正例③】

(提出された申告書)

氏名	収入の種類 当てはまるものを○で囲んでください。	年金・職業の種類 年金の場合は、あてはまるものを○で囲んでください。	収入金額	必要経費	所得金額
国保 太郎 S37. 3.28生 (9999-9999-9)	無収入	無収入の方は左欄を○で囲んでください。		999999911111111115	所
	給与 (パート・アルバイト収入を含む。)	①	円	で記入 ください 円	年
	年金	老齢・退職	円		額
		遺族・障害年金	2,000,000	円	額
		その他()年金	円	円	円
	営業等・不動産・その他	()	円	円	円
営業等・不動産・その他	()	円	円	円	



非課税年金のみの場合

(補記・修正後の申告書)

国保 太郎 S37. 3.28生 (9999-9999-9)	無収入	無収入の方は左欄を○で囲んでください。		999999911111111115	7
	給与 (パート・アルバイト収入を含む。)	①	円	で記入 ください 円	年
	年金	老齢・退職	円		額
		遺族・障害年金	2,000,000	円	額
		その他()年金	円	円	円
	営業等・不動産・その他	()	円	円	円
営業等・不動産・その他	()	円	円	円	

非課税年金の場合、所得区分「7」を入力し、収入金額は記載しない。